

※この用紙は、所属大学の、直近の日本語科目ご担当の先生がご記入の上、文書末尾にご署名ください。

This form **should be filled out by a Japanese language teacher who is most recently in charge of the applicant at his/her university.**

In addition, the teacher is **required to sign at the end of this document.**

語学能力証明書 Japanese Language Proficiency Verification

[大学名] _____

[学生氏名] _____

上記の学生の現在の日本語学習および日本語能力について、以下のとおりであることを証明いたします。

◆次の1～5について、あてはまる記号を（ ）に書いてください。

1. 日本語能力試験（JLPT）でのレベル 回答（ ）

- a. N4合格程度未満
- b. N4合格程度
- c. N3合格程度
- d. N2合格程度
- e. N1合格程度

2. 習得した漢字について 回答（ ）

- a. 100字程度を読み、書くことができる。
- b. 300字程度を読み、書くことができる。
- c. 1000字程度を読み、書くことができる。
- d. 2000字程度を読み、書くことができる。

3. 習得した語彙について 回答（ ）

- a. 初級教科書に載っている語彙の半分程度（800語程度）を適切に使用することができる。
- b. 初級教科書に載っている1500語程度の語彙をほぼすべて辞書なしで適切に使用することができる。
- c. 6000語程度の語彙をほぼすべて辞書なしで適切に使用することができる。
- d. 10000語程度の語彙をほぼすべて辞書なしで適切に使用することができる。

語学能力証明書 Japanese Language Proficiency Verification

4. 総合的な日本語力について 回答 ()

※a~cと回答した場合は、質問5へ進んでください。

- a. 基本的な日本語をある程度理解することができる。
- ・ ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。
 - ・ 教室や身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される日本語であれば、必要な情報を聞き取ることができる。(→質問5へ)
- b. 基本的な日本語を理解することができる。
- ・ 基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を読んで理解することができる。
 - ・ 日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。(→質問5へ)
- c. 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
- ・ 日常的な話題で書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。新聞の見出しなどから概要をつかむことができる。
 - ・ 日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。
 - ・ 日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。(→質問5へ)
- d. 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる
- ・ 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。
 - ・ 一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。
 - ・ 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
- e. 幅広い場面で使われる日本語を理解することができる
- ・ 幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。
 - ・ さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。
 - ・ 幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。

語学能力証明書 Japanese Language Proficiency Verification

5. 習得した文法について

回答 ()

- a. て形、ない形、た形、辞書形を正しく活用させることができ、また、それを用いた文型が使える。
- b. 可能形、意向形、命令形、条件形、受身形、使役形を正しく活用させることができ、また、それを用いた文型が使える。

以上、記載した内容に誤りのないことを証明します。

教員氏名(Name of the teacher who made this) _____

役職名(Title/Position) _____

所属機関(Institution) _____

署名 (Signature) _____ 日付 (Date) _____